

## ✓ チェックシートの記入方法にも問題あり！！

Point92で、チェックシートの問題として複数の人が確認してもチェック漏れを見逃すようなチェックシートでは、チェック漏れし易いチェックシートの方に問題であるのではないかと明らかにしました。

しかし、チェックシートに関する問題はチェック漏れし易いチェックシートだけにあるわけではありません。それはチェックシートに記入する方法です。

チェックシートには、○(マル)・レ(レ点)・/ (斜線)・**数値**など様々なことを記入するようになっていますが、さらに色(赤・青・緑)が加わり「青マルに赤レ点」「赤マルに赤レ点」「赤マルだけ」「赤レ点だけ」などが現在チェックシートに記入されています。(ちなみに緑色は見習い作業者がチェックする時の色でほとんど使われることはないようです)

昨年7月に行われたチェックシートに関する説明会では、一応チェックシートの記入方法(ルール)が統一されているような説明でしたので、チェックシートの種類が増えてもチェックシートの記入方法で苦勞するようなことはないだろうと思っていたのですが、半年過ぎても記入方法に迷うことが多く、社員の負担になっているのが現実です。

## 統一されていないチェックシートの記入方法が問題！！

通常の作業(取り外し・取付けの一連の作業を行った場合のこと)であれば作業者が青マル・確認者が赤レ点ということで順調に記入することが出来ます。しかし、大阪修繕車両所で行う台車交換に伴う準備作業では、取り外し作業だけとなっていますので、現在のところ通常の作業の場合とチェックの方法が変わっており、チェックシートの取り外した所に赤マルだけを記入するようになっていきます。

このようにチェックの記入方法が色々あるため、青マルは取り付けした時、赤マルは取り外した時と解釈している社員もいれば、青マルは作業者・赤マルは確認者が作業した場合に記入すると解釈する社員もいます。

このように現場では社員によって記入方法の認識が違ってきます。

また、台車交換に伴う準備作業での取り外した時に赤マルだけでチェック(確認)したことになるのか大いに疑問が残ります。

会社の説明では、確認者が一人で取り外し・取付などの作業を行った場合は赤マルを記入し、取付などの確認をして赤レ点という説明だったと思います。そうだとすれば赤マルだけでは確認者が取り外し・取付などの作業を行って記入しただけで誰も取付などの確認したことになりません。

私たちは、社員がチェックシートの記入方法で迷うことがないように誰がチェックしても同一になるための記入方法(ルール)の確立を求めます。

皆さんどう思いますか、現場の声で働きやすい職場を創りましょう！！